

名称 NSIDC (National Snow and Ice Data Center)

日本語名 米国雪氷データセンター

親機関 NOAA-CIRES

住所 CIRES, Campus Box 449, Boulder, Colorado 80309

国名 U.S.A.

電話 1-303-492-5171

ファックス ----

---

1. タイプ：国際データセンター

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

NSIDCはNOAAにより1982年に設立され、雪氷に関する国立情報センターとしての機能をもっている。関連項目は、なだれ、陸氷、氷河、地上雪と永久凍土、雪シート、古気候学、海水と積雪である。NSIDCに開設されている氷河学の世界データセンター（WDC-A）は、コロラド大学のCIRES（Cooperative Institute for Research in Environmental Sciences）とNESDIS/NOAAとの契約にもとづいて運営されている。センターはNOAAの環境研究室とNGDCに隣接したビルディングにある。

4. データ管理

NSIDCは、雪氷の研究に関する全ての分野から得られるデジタルデータを保管している。例えば、なだれと冰山災害の研究、北極圏のエネルギー源の開発、航路の確立、古気候学、気候変動研究。雪氷圏データ管理システム（CDMS: Cryosphere Data Management System）は、コンピュータ支援による雪氷研究のデータ管理システムである。このシステムは1983年にNSIDCのデジタル化された雪氷データへのアクセスを改善するために開始された。CDMSにより提供されるデータは、多チャンネル超短波放射データ、防衛・気象衛星計画の特殊センサー・マイクロウェーブ/イメージ（SSM/I）データである。

CDMSの機能は、データ収集・管理のガイドライン作成、地図化されたデータを内外の利用者に提供することである。

5. 協力

他の世界データセンターとデータ管理・提供についてネットワークを構成している。

6. 参考文献

NGDC/NOAA, 1990: The National Geophysical Data Center, Programs and Services, 25th Anniversary 1965-1990, 96 p.